

【参加受け付け】

1. 受付時間

- (1) 受付は、神戸国際会議場で行います。
- (2) 受付時間は下記の通りです。

日程	受付時間
6月13日(土)	9:00-16:00
6月14日(日)	8:30-15:00

- (3) 事前申し込みされた方は、参加証、講演集を必ずご持参ください。
- (4) 講演集、領収書の再発行はできません。また、一度払い込まれた参加費等の返金には、応じられませんのでご了承ください。
- (5) 当日参加の方は、当日参加受け付けで参加費をお支払いください。尚、学生（大学院生を除く）の方は、学生証をご持参の上、受付でご提示ください。

会員	9,000円
非会員	10,000円
学生（大学院生除く）	1,000円（講演集代含まず）
講演集	1,000円

- (6) 領収証はネームカードと一緒に綴られています。別紙にて発行することはできません。

【ランチョンセミナー】

以下の日程でランチョンセミナーを開催いたします。当日朝に各セミナーの参加チケット（無料）を4階において配布いたします（各先着50名）。参加を希望される方は、必ずチケットをお持ちの上、各セミナー会場にお越しください。紛失された場合の再発行は致しません。いずれも定員は50名です。

日 程	チケット配布開始時刻
6月13日(土)	10:00
6月14日(日)	9:00

1日目：6月13日(土)

セミナー1：良質な睡眠は人を育てる

演者：金子勝明（東洋羽毛工業株式会社）

2日目：6月14日(日)

セミナー2：脳科学から見たマッサージやスキンケアの有用性

座長：坂上晶代（医療法人社団 坂上医院 事務長）

演者：鳥居 宏右（株式会社ノエビア グループ総合研究開発部）

新垣 健太（株式会社ノエビア グループ総合研究開発部）

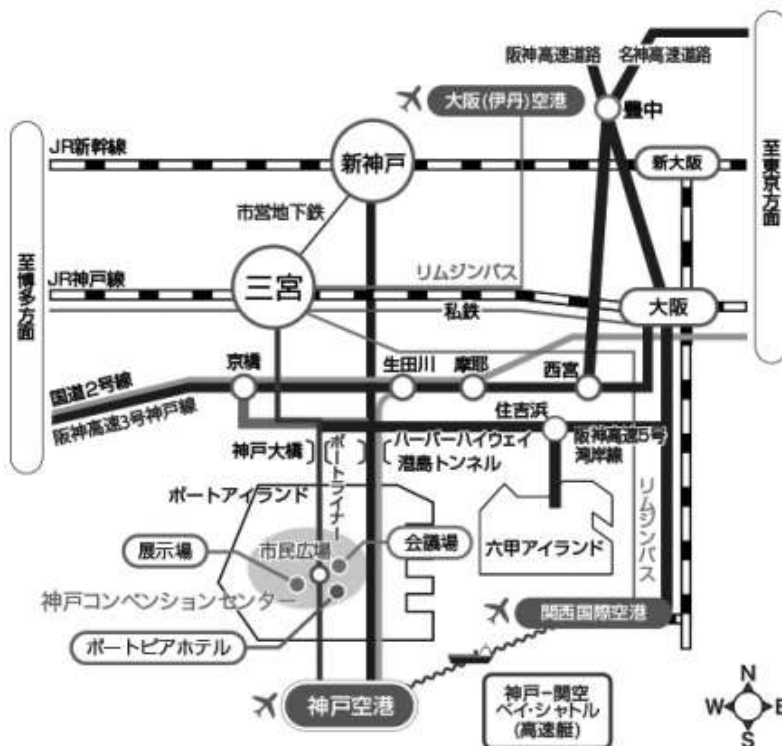
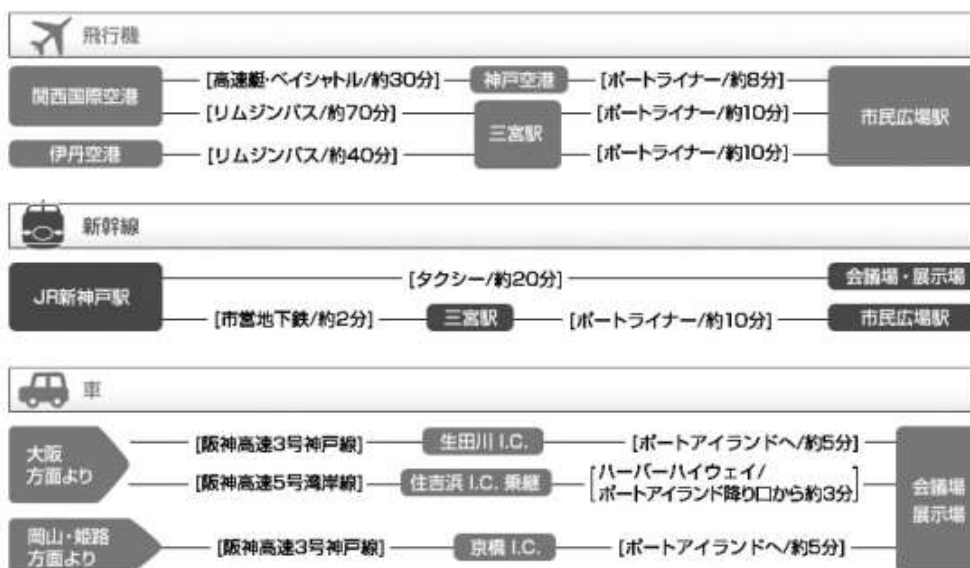
【開催中止の判断と対応について】

感染症の流行や災害等により、行事・集会等の自粛が必要な場合、日本看護倫理学会理事長と協議の上、速やかに現地開催の中止を決定し、学術集会を講演集による誌上発表に切り替えます。中止決定は学会ホームページに緊急掲示するとともに、各演者や座長にはメール等で連絡させていただきます。また、当日は会場の入口等に掲示します。

【アクセス】

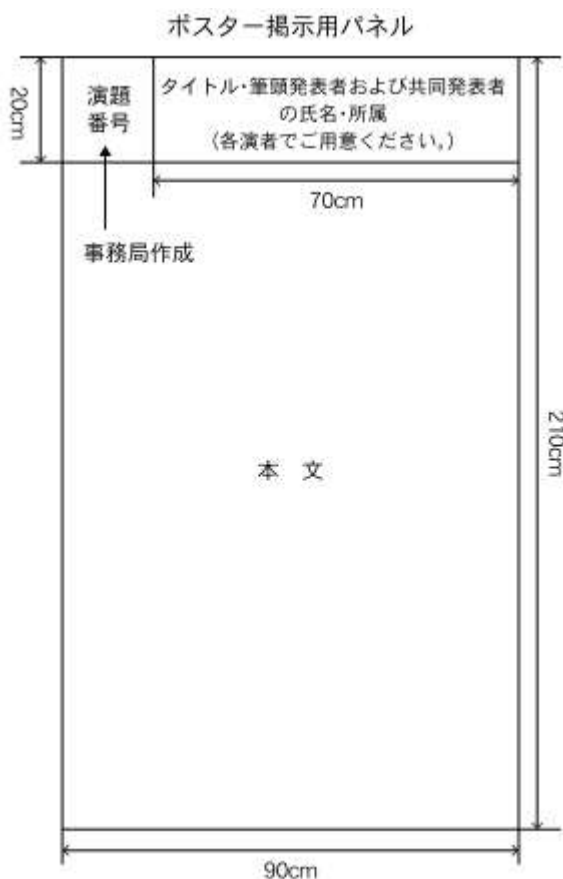
会 場 : 神戸国際会議場

所在地 : 〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6 - 9 - 1



【一般演題発表の皆様へ】

- 1) 発表は示説のみです。
- 2) 発表者は、6月14日9:30までに、演題番号ごとに指定された区画にポスターを貼付してください。なお6月13日14:00から貼付は可能です。
- 3) 1演題あたり縦210cm×横90cmのパネルを1枚用意してあります(下図参照)。その範囲内にポスターを掲示してください。A3版横の用紙なら10～12枚貼付できます。
- 4) ポスターの上部に、縦20cm×横70cmの大きさで、タイトル・筆頭発表者名・共同発表者名・所属を貼ってください。字の大きさは十分に読めるようにしてください。
- 5) 演題番号、掲示に使用する画鋐、発表者が胸につけるリボンを事務局で準備しますので、発表会場の受付カウンターでお受取り下さい。
- 6) 発表者はリボンを付け、発表開始時間の10分前までに、発表会場にお越しください。
- 7) 発表・質疑応答時間は、6月14日11時～12時です。この時間は必ずポスター前に待機して質問者への対応をお願いします。
- 8) 撤去時間を過ぎたポスターは、事務局で撤去し、処分させていただきますのでご了承ください。
- 9) 画鋐とリボンは、発表会場の受付カウンターにご返却ください。

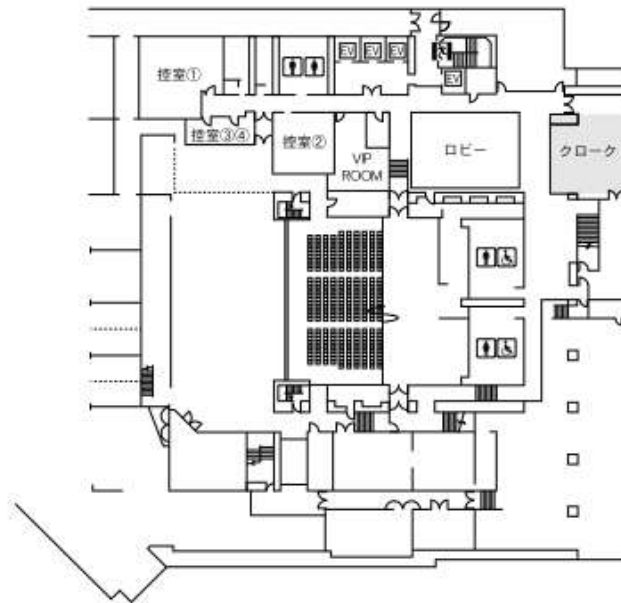


【交流セッション】

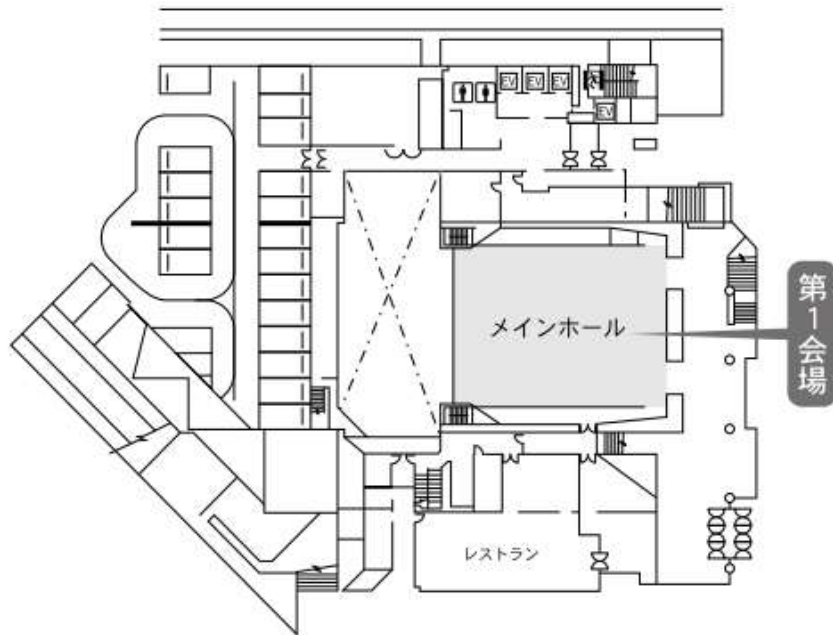
- 1) 運営・進行は、すべて代表者に一任しております。開始 10 分前までに会場にお越しください。
- 2) 当日、会場のプロジェクターと PC を使用することは可能です。自身の PC をお使いいただく
- 3) こともできます。
- 4) 会場定員は 50 ～ 100 人程度です（会場によって異なります）。
- 5) 会場の準備、後片づけ等は、代表者が責任を持って行ってください。
- 6) 交流セッションの時間は、90 分間といたします。
- 7) プログラムのとおり、時間厳守で運営していただきますようお願いいたします。
- 8) 資料がある場合は、十分な部数をご準備ください。

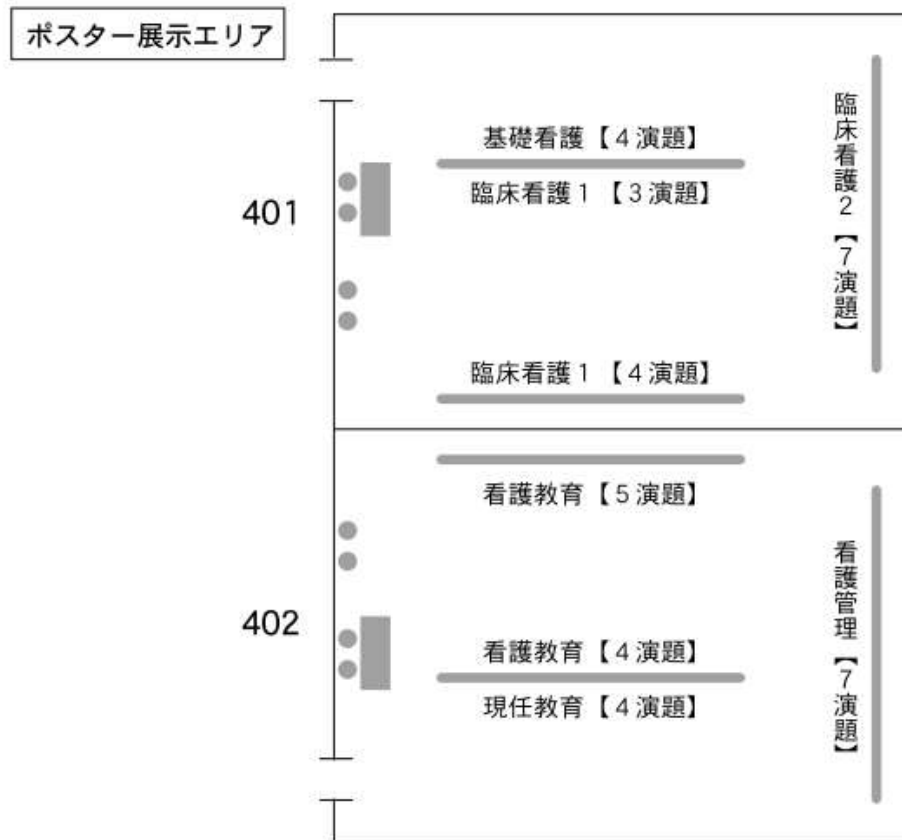
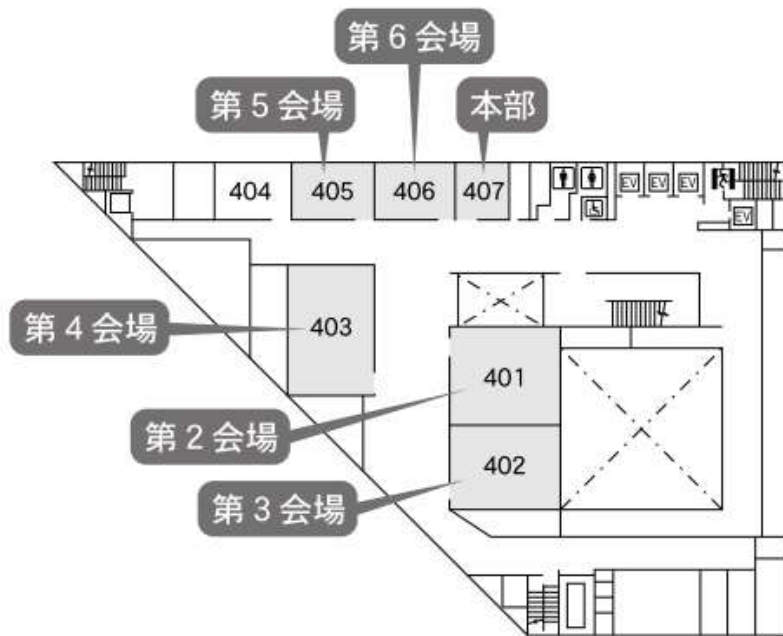
会場案内図

国際会議場 B1F



国際会議場 1F





日程表 【第1日目】 2015年6月13日(土)

会場名	部屋名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
第1会場	メインホール(1階)				総会 11:00~12:00		大会長講演 看護実践 が体现する 看護倫理 13:00~13:50	シンポジウム1 皆で考えよう！ 日常のケア場面 における倫理問題 14:00~15:30		シンポジウム2 病気・障がいのあ る子どもの教育を 受ける権利を問う 15:40~17:10			
第2会場	401 (4階)							ポスター掲示 14:00~17:00					
第3会場	402 (4階)							ポスター掲示 14:00~17:00					
第4会場	403 (4階)			評議員会 9:30~10:30						交流セッション2 15:40~17:10			
第5会場	405 (4階)									交流セッション3 15:40~17:10			
第6会場	406 (4階)					ランチョン セミナー1 12:00~12:50		交流セッション1 14:00~15:30					
本部	407 (4階)			学会本部 9:00~18:00									

日程表 【第2日目】 2015年6月14日(日)

会場名	部屋名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
第1会場	メインホール(1階)			教育講演 仏教における 倫理観の神髄 9:30～11:00					シンポジウム3 自己決定に支援 が必要な患者の 権利擁護 14:30～16:00			
第2会場	401 (4階)		ポスター掲示 9:30 までに	ポスター発表・ ディスカッション 11:00～12:00		ポスター掲示 12:00～15:00			ポスター 撤去 15:00～16:00			
第3会場	402 (4階)		ポスター掲示 9:30 までに	ポスター発表・ ディスカッション 11:00～12:00		ポスター掲示 12:00～15:00			ポスター 撤去 15:00～16:00			
第4会場	403 (4階)						交流セッション4 13:00～14:30		交流セッション7 14:40～16:00			
第5会場	405 (4階)						交流セッション5 13:00～14:30					
第6会場	406 (4階)					ランチョン セミナー2 12:00～12:50	交流セッション6 13:00～14:30					
本部	407 (4階)		学会本部 8:00～17:00									

.....

一 般 演 題 示 説

平成27年6月13日(土)・14日(日)

会 場 ● 第2会場(401) 第3会場(402)

.....

1. 基礎看護

- P1-1** 学生が捉えた倫理的行動ができる看護師の姿勢－倫理問題事例分析からの学び－
境 美代子 [富山福祉短期大学看護学科]
- P1-2** 看護学生の道徳的感受性は看護経験を重ねることで変化するのか
村松 妙子 [浜松医科大学医学部看護学科]
- P1-3** F. Nightingale の資料からみた看護学の価値と倫理に関する基礎的検討
新納 美美 [北海道大学大学院理学院]
- P1-4** 我が国の看護学臨地実習におけるケアリングについての研究動向
佐藤 聖一 [桐生大学]

2. 看護管理

- P2-1** 中小規模病院の看護師長の経験に含まれる倫理的問題とその対応
前田 朝子 [天使大学]
- P2-2** 多職種倫理カンファレンス調整の実際～呼吸療法チーム介入患者の目標共有～
鈴木 淳 [土浦協同病院]
- P2-3** 臨床現場における倫理感性醸成に向けた取り組み
－看護実践報告の効果について－
豊嶋 直美 [社会医療法人明和会 中通総合病院]
- P2-4** 看護の質向上委員会の設置と取り組みの成果
須崎 清子 [都立神経病院]
- P2-5** 研究倫理委員会を立ち上げて
三輪 恵里 [富山県済生会富山病院]
- P2-6** 来日 EPA 外国人ケア・ワーカーのメンタルにおける諸問題
：フィリピン EPA 看護師候補者の事例から
蔡 小瑛 [梅花女子大学看護学部]
- P2-7** 臨床看護師が抱える倫理的問題の傾向と課題～事例を分析して～
白田 江梨 [富士重工業健康保険組合 太田記念病院]

3. 臨床看護 - 1

- P3-1** 婦人科がん術後患者への退院後の電話相談における倫理的課題
佐藤真由美 [亀田医療大学]
- P3-2** A 病院における外来化学療法室看護師の倫理的問題への介入
谷本知華子 [旭川赤十字病院]
- P3-3** 患者の意思決定が治療や看護に反映される意思表示シートの開発
～終末期患者を通して～
丸山みゆき [明石医療センター]
- P3-4** 消化器病棟におけるがん看護実践上の困難－事例検討の内容分析より－
小野田弓恵 [浜松医療センター]
- P3-5** 人工呼吸器装着をめぐる倫理的諸問題－ALS 患者の場合
中川 潔美 [朝日大学]
- P3-6** 倫理カンファレンスによる看護実践の卓越性自己評価の検討
～終末期がん患者の退院支援に焦点をあてて～
林 かよこ [川崎医科大学附属病院]
- P3-7** 胃がん終末期患者への看護
－家族が身体拘束をしないで尊厳を守りケアをしてほしいと希望した事例報告－
青田 美穂 [医療法人東札幌病院]

4. 臨床看護 - 2

- P4-1** 重度の脳奇形と診断された児の親子関係形成支援における倫理的問題への介入
鈴木 悦子 [土浦協同病院]
- P4-2** 混合病棟で小児に関わる看護師のプレパレーションに対する認識と実施状況－第1報
宮内 環 [関西国際大学]
- P4-3** 混合病棟で小児に関わる看護師のプレパレーションに対する認識と実施状況－第2報
宮内 環 [関西国際大学]
- P4-4** 混合病棟で小児に関わる看護師のプレパレーションに対する認識と実施状況－第3報
宮内 環 [関西国際大学]
- P4-5** 終末期患者の「自尊心とその人らしさ」を支える看護
～認知症状のある患者をチームで支えた一症例～
高橋加代子 [医療法人惇慧会外旭川病院]
- P4-6** DNR に関する A 病院の取り組み
蟹谷 和子 [旭川赤十字病院]
- P4-7** 一般病棟看護師のデスカンファレンスからの学び
菅原 玉枝 [名寄市立総合病院]

5. 看護教育

- P5-1** クリティカルケア実習における看護学生が捉えた倫理的配慮
河相てる美 [富山福祉短期大学看護学科]
- P5-2** 臨地実習における看護学生への看護倫理的指導の現状～看護師の立場から～
菅沼 澄江 [群馬医療福祉大学]
- P5-3** 「看護倫理」の授業における看護学生の学び
泉澤 真紀 [旭川大学]
- P5-4** 成人看護学実習で学生が捉えた倫理的問題に関する文献検討
北端 恵子 [朝日大学保健医療学部看護学科]
- P5-5** 介護学生が高齢者施設の実習を通して認識した倫理問題
小出えり子 [富山福祉短期大学]
- P5-6** 事例研究プロセスから学生が学ぶ患者の尊厳
山本 真弓 [日本大学大学院総合科学研究科]
- P5-7** 実践報告：臨地実習における倫理カンファレンスでのファシリテータ役割
中馬 夕佳 [鹿児島大学医学部保健学科]
- P5-8** 母性看護学実習において学生が感じた違和感を倫理的気づきへ変える取り組み
－倫理カンファレンスにおける倫理的分析過程を通して－
井上 尚美 [鹿児島大学医学部保健学科]
- P5-9** 母性看護学実習での学生が気になった場面の倫理的傾向と今後の課題
高田久美子 [鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻]

6. 現任教育

- P6-1** 倫理的看護実践を目指した委員会のタイアップ
－教育委員会研修と倫理委員会事例検討の取り組み－
亀畑 祥子 [医療法人社団豊生会東苗穂病院看護部]
- P6-2** 看護倫理教育 －クリニカルラダーの段階に合わせた院内教育の実際－
前村 泰子 [愛知医科大学病院]
- P6-3** 病院職員の捉えた倫理問題－新採用者が認識した事例－
原田 洋美 [医療法人西能病院看護部]
- P6-4** 倫理問題解決のためのファシリテーター育成の試み
戸田美佐子 [愛知医科大学病院]